

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX:0595(21)8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken>E-mail:iga-ken@iga.ed.jp

AIと子どもたちの生活

公立小学校でAIの出前授業をされた方の新聞投稿を紹介します。

講師の方は、教室で子どもたちに次のように尋ねました。

「学校の授業以外で、AIを使っている人はいますか？」

結果は、クラスの8割近くでした。

「ゲームの攻略法を聞いた」「自由研究のアイデアを考えてもらった」「作文の言い回しを直してもらった」・・・使い方は様々でした。



中学生になると、さらに状況は進みます。中学校では同じ質問に対して、「宿題にAIを使っている」と答えた生徒もいました。なかには、ChatGPTに「チャッピー」と愛称をつけて呼び、「それ、チャッピーに聞いてみよう」とか「チャッピーにも相談してみよう」と、まるで友だちのように何でも打ち明ける子もいました。

「それじゃあ、AIの使い方を、誰かから習ったことがありますか？」

前の質問に続けて聞くと、今度は、ほとんどの子が首を横に振りました。

子どもたちは、宿題のやり方だけでなく、進路や人間関係の悩みまで、AIに相談してみる。そんな光景がごく自然なものとして教室の外で広がってきています。つまり、「こういうことを聞くと面白い」「便利な使い方はこう」という情報はあふれているのです。

一方、「どう使うと危ないのか」「どんなふうに使えば自分のためになるのか」といった、いわばルールにあたる部分は誰からも教わらないまま、多くの子どもたちがAIを使っている・・・これが今のリアルな姿です。

だからこそ、大切なことは、「どう使うと安全なのか」「どう使うと自分のためになるのか」「どんなことを聞いてはいけないのか」という「基本」を学ぶことです。基本を理解し使うことで、AIは子どもの学びを支えてくれる、頼もしい存在になり得ると思います。そのため、AIリテラシーの授業は今後さらに必要なものとなるでしょう。

WiFi環境がさらに整いました



Wi-Fi

教職員の会議や研修において、インターネット環境は欠かせない要素となっています。当センターでは、大会議室、中会議室に加えて小会議室にも新たにWiFi環境を整えました。

学校で使用しているタブレットもしくは中会議室で保管しているタブレットであれば、ネット接続可能です。是非会議や研修でご活用ください。